

第1部	計画の基本的考え方	1
第1章	国土に係る状況の変化と国土づくりの目標	1
第1節	国土を取り巻く時代の潮流と課題	1
	（1）急激な人口減少、少子化と、地域的な偏在の加速	1
	（2）異次元の高齢化の進展	1
	（3）変化する国際社会の中での競争の激化	2
	（4）巨大災害の切迫、インフラの老朽化	3
	（5）食料・水・エネルギーの制約、地球環境問題	4
	（6）ICTの劇的な進化など技術革新の進展	4
第2節	国民の価値観の変化	5
	（1）ライフスタイルの多様化	5
	（2）コミュニティの弱体化、共助社会づくりにおける多様な主体の役割の拡大・多様化	6
	（3）安全・安心に対する国民意識の高まり	6
第3節	国土空間の変化	7
第4節	新たな国土形成計画の必要性	7
第5節	我が国の将来像	8
	（1）人口等の見通し	8
	（2）国土づくりの目標	8
第2章	国土の基本構想	10
第1節	対流促進型国土の形成：「対流」こそが日本の活力の源泉	10
	（1）本格的な人口減少社会における国土の基本構想	10
	（2）対流の意義と態様	10
	（3）対流の発生、維持、拡大に必要な要素	12
第2節	重層的かつ強靱な「コンパクト＋ネットワーク」	13
第3節	東京一極集中の是正と東京圏の位置付け	16
第4節	地域別整備の方向	17
第3章	国土の基本構想実現のための具体的方向性	20
第1節	ローカルに輝き、グローバルに羽ばたく国土	20
	（1）個性ある地方の創生	20
	①目指すべき地方の姿	20
	②地域構造の将来像	21
	③魅力ある「しごと」の創出	23
	④「人の対流」の推進と国民生活	26
	（2）活力ある大都市圏の整備	29
	①大都市圏の個性と連携による新たな価値の創造	29
	②安全・安心な大都市圏の形成	30
	③安心して子どもを産み育てるための環境整備	30

(3) グローバルな活躍の拡大	31
①世界に活動の場を拡げ、成長力を高める	31
②海外から投資を呼び込むための事業環境等の整備	32
③グローバルな「対流」促進の強化	33
④リニア中央新幹線によるスーパー・メガリージョンの形成	34
⑤観光立国のさらなる展開	35
第2節 安全・安心と経済成長を支える国土の管理と国土基盤	37
(1) 災害に対し粘り強くしなやかな国土の構築	37
(2) 国土の適切な管理による安全・安心で持続可能な国土の形成	39
①国土の適切な管理・土地の有効利用	40
②環境と共生した持続可能な国土づくり	42
③海洋・海域の保全と利活用	43
④国民の参加による国土管理	44
(3) 国土基盤の維持・整備・活用	46
①国土基盤整備の安定的・持続的な推進	46
②国土基盤の戦略的メンテナンスの推進	48
③国土基盤を賢く使う	48
④国土基盤を支える担い手の確保とインフラビジネスの拡大	49
第3節 国土づくりを支える参画と連携	49
(1) 地域を支える担い手の育成等	49
(2) 共助社会づくり	51
第4節 横断的な視点	53
(1) 時間軸の設定	53
(2) ICT等の技術革新やイノベーションの導入	54
(3) 民間活力の活用	55
第2部 分野別施策の基本的方向	56
第1章 地域の整備に関する基本的な施策	57
第1節 対流の促進とコンパクト+ネットワークの構築	57
(1) 対流の促進	57
(2) 集落地域における小さな拠点の形成	58
(3) コンパクトシティの形成	58
(4) 連携中枢都市圏等による活力ある経済・生活圏の形成	59
(5) スーパー・メガリージョンの形成	60
(6) 都市と農山漁村の対流	61
(7) 地方移住、二地域居住等の促進による東京一極集中の是正	61
(8) グローバルな対流を促進する多様なネットワークの形成	62
第2節 美しく暮らしやすい農山漁村の形成	62
(1) 多様な地域資源の積極的活用による雇用と所得の創出	63
(2) 快適な暮らしと美しい農山漁村の実現	63
第3節 我が国をけん引する個性際立つ大都市圏等の整備	64

(1) 大都市のリノベーション	64
(2) 環境・防災都市の形成に向けた取組の推進	65
第4節 少子化や高齢化に対応した地域づくり	65
(1) 子育て世代や高齢者が安全・安心に暮らせる環境の整備	66
(2) 女性、高齢者等が活躍できる社会の実現	67
(3) コミュニティによる暮らしの安全・安心の確保	68
(4) 東京圏における高齢化に伴う問題への対応	68
第5節 住生活の質の向上及び暮らしの安全・安心の確保	69
(1) 良質な住宅ストックの形成と住宅セーフティネットの確保	70
(2) 安全・安心で快適な居住環境の形成	71
第6節 地理的、自然的、社会的条件の厳しい地域への対応	72
(1) 離島地域	72
(2) 豪雪地帯	73
(3) 山村地域	74
(4) 半島地域	75
(5) 過疎地域	75
第2章 産業に関する基本的な施策	77
第1節 産業の国際競争力の強化とイノベーションを支える環境整備	77
(1) イノベーションの創出と成長産業への展開	78
(2) 科学技術を支える基盤の強化と人材の育成	80
第2節 地域を支える活力ある産業・雇用の創出	80
(1) 地域消費型産業の付加価値生産性の向上	81
(2) 魅力ある地域産業の展開や地域発イノベーションによる内発的発展	81
(3) 地域の労働供給力の向上と雇用の創出	82
第3節 海外からの投資を呼び込む環境整備	83
(1) 世界をリードする魅力ある成長産業の形成推進	84
(2) 世界最高クラスの事業環境の整備	84
第4節 世界最先端の技術を活かしたエネルギー需給構造の実現	84
(1) 安定的なエネルギー供給の実現	85
(2) 再生可能エネルギーの活用拡大と分散型エネルギーシステムの構築	85
(3) 徹底したエネルギー効率の向上と環境への配慮	86
(4) エネルギーの効率的・安定的な利用のための環境整備	87
第5節 食料等の安定供給と農林水産業の成長産業化	88
(1) 食料の安定供給と食料安全保障の確立	88
(2) 農業・食品産業の成長産業化の促進と農業の持続的な発展	89
(3) 林業の成長産業化の実現	92
(4) 水産資源の適切な管理と水産業の構造改革	94
第3章 文化及び観光に関する基本的な施策	96
第1節 文化が育む豊かで活力ある地域社会	96
(1) 個性豊かな地域文化の保存、継承、創造、活用等	97

(2) 文化芸術やスポーツ活動への参加機会等の充実	98
(3) 世代・地域を越えた異文化間の対流	99
(4) 地域の文化芸術活動を支える環境整備	99
(5) 新しい日本文化の創造・発信	100
第2節 観光振興による地域の活性化	101
(1) 国際競争力のある魅力的な観光地域づくり、観光旅行消費の一層の拡大	101
(2) 先手を打っての「攻め」の受入環境整備	102
(3) 質の高い観光を通じた対流の拡大	102
(4) 訪日外国人旅行者の飛躍的増加に伴う国土づくり	103
第4章 交通体系、情報通信体系及びエネルギーインフラに関する基本的な施策	105
第1節 総合的な交通体系の構築	105
(1) 国際交流拠点の競争力強化	105
(2) 東アジアとの対流の促進	108
(3) 地域間の対流を促進する国土幹線交通体系の構築	109
(4) 地域交通体系の構築	111
第2節 情報通信体系の構築	114
(1) 情報通信インフラの整備	115
(2) ICT・データ利活用の促進	116
(3) 情報通信社会の安全・安心の確保	118
第3節 エネルギーインフラの充実	118
(1) スマートコミュニティの形成	118
(2) 水素社会の実現に向けたインフラ整備	119
(3) エネルギーネットワークの充実	119
第5章 国土基盤ストックに関する基本的な施策	120
第1節 国土基盤の戦略的メンテナンス	120
(1) インフラ機能の確実かつ効率的な確保	120
(2) メンテナンス産業の育成	122
(3) 多様な主体との連携等	122
第2節 国土基盤の有効活用（国土基盤を賢く使う）	122
(1) インフラ機能の最大発揮	123
(2) インフラ機能の強化・高度化	124
(3) インフラの多機能化	124
第6章 防災・減災に関する基本的な施策	126
第1節 適切な施策の組合せと効率的な対策の推進	126
(1) 防災・減災に資する施設の整備等	126
(2) 防災・減災に資する土地利用の推進	127
(3) 広域的連携体制及び災害対応体制の強化等	128
第2節 都市の防災・減災対策の強力な推進	129
(1) 都市における水害、土砂災害及び津波への対応	129

(2) 巨大地震等に強い都市の構築	130
第3節 安全な農山漁村の実現	130
第4節 諸機能及びネットワークの多重性・代替性確保等による災害に強い国土構造の構築	131
(1) 中枢管理機能等のバックアップ等	131
(2) 交通・物流に関する施策	131
(3) エネルギー・産業に関する施策	132
第5節 自助、共助とそれを支える公助の強化	133
(1) 自主的避難の促進及び避難の円滑化・迅速化	133
(2) 地域防災力の向上等	133
(3) 迅速で分かりやすい災害情報等の提供	134
第7章 国土資源及び海域の利用と保全に関する基本的な施策	135
第1節 農地等の利用の増進	135
(1) 農業の担い手への農地集積・集約化と農地の確保	136
(2) 多面的機能の発揮を促進するための取組の推進等による地域資源の維持、継承等	136
第2節 次世代に引き継ぐ美しい森林	137
(1) 多様で健全な森林の整備及び保全の推進	137
(2) 国民参加の森林づくりと木材利用に対する理解の醸成	138
第3節 健全な水循環の維持又は回復等	138
(1) 流域の総合的かつ一体的な管理の推進	138
(2) 貯留・涵養機能の維持・向上	139
(3) 水の適正かつ有効な利用の促進等	139
(4) 総合的な土砂管理の取組の推進	141
第4節 海洋・海域の保全と利活用	142
(1) 海洋権益の保全及び海洋資源・海洋再生可能エネルギーの開発等の利活用の推進	142
(2) 陸域と一体となった自然環境の保全・再生	142
(3) 離島の適切な保全・管理と領土・領海及び排他的経済水域等の確保・開発等	143
(4) 沿岸域の総合的管理	143
第5節 国民の参加による国土管理	143
(1) 人口減少下における国土の適切な管理	144
(2) 多様な主体による国土の国民的経営	145
第8章 環境保全及び景観形成に関する基本的な施策	147
第1節 生物多様性の確保及び自然環境の保全・再生・活用	147
(1) グリーンインフラの取組の推進等の自然環境の保全・再生・活用	148
(2) 人と野生生物等の関係の適正化	149
(3) 自然資源や景観を活かした魅力ある地域経済循環の創出	150
(4) 生物多様性の社会への浸透	150
(5) 環境影響評価の実施	151

第2節	物質循環の確保と循環型社会の形成	151
第3節	地球温暖化の緩和と適応に向けた取組等、地球環境問題への対応	152
	(1) 地球温暖化の緩和に向けた取組の推進	153
	(2) 地球温暖化の適応に向けた取組の推進	154
第4節	大気環境の保全、土壌汚染対策の推進等	154
	(1) 大気環境の保全	155
	(2) 土壌汚染対策の推進	155
第5節	美しい景観、魅力ある空間の保全、創出と活用	155
	(1) 持続可能な国土管理を通じた美しい景観の形成	155
	(2) 地域の個性を活かした魅力ある景観の形成	156
	(3) 美しい景観の活用による地域の活性化	156
第9章	多様な主体による共助社会づくりの実現に向けた基本的な施策	158
第1節	地域を支える担い手の育成と共助社会づくり	159
	(1) 地域を支える担い手の育成・確保	159
	(2) 参加主体の拡大と多様な主体の活動環境の整備	159
第2節	多様な民間主体の発意・活動を重視した地域づくり	160
	(1) 地域磨きと地域資源の情報発信	160
	(2) 地域内循環による資金の確保とソーシャルビジネスの推進	160
	(3) 地域の内発的発展と行政の役割	161
第3部	計画の効果的推進及び広域地方計画の策定・推進	162
第1章	計画の効果的推進	162
第1節	国土計画の推進と評価	162
第2節	地理空間情報の活用推進	163
	(1) 地理空間情報の整備	163
	(2) 地理空間情報の流通促進	163
	(3) 地理空間情報の活用推進	163
第3節	国土利用計画との連携	164
第2章	広域地方計画の策定・推進	165
第1節	広域地方計画の役割	165
第2節	広域地方計画の基本的考え方	165
	(1) 各広域ブロックの現況と課題	165
	(2) 広域ブロック間の連携及び相互調整	169
第3節	北海道総合開発計画及び沖縄振興基本方針と国土形成計画との連携	169
第4節	広域地方計画策定及び実施に当たって必要な検討事項	171